

写真ニュース

4月

↑中国残留孤児日本語教室に
↑R福知山線事故の安全
↑R西岡山南学区に安
全安心対策を「市」へ
↑市議団で北九州市「ウツパ
ン」を視察

5月

↑高松市立多治米中学校
同窓会に参加

6月

↑6.29岡山空襲の日、記
念行事がおこなわれまし
た。犠牲者の数1400以上
のキャンドルに明かりが
ともされました。

↑岡山市出身の女性活動家福田
英子の顕彰碑を生誕地に！が
実現しました。笠井山から野
田原町公園に移設されました。

7月

↑今年度は戦後60年、竹
永議員は近隣の平和資
料館を視察に行ってい
ます。7月は福山市と
高松市に行きました、
高松平和記念室の前で。

↑岡山空襲資料館も出石
小学校から勤労者福祉
会館に移転オープンし
ました。立命館ミュ
ージアムの安斎都郎先生
も来館。

↑R福知山線事故の安全安心対策を「市」へ

↑市議団で北九州市「ウツパン」を視察

↑高松市立多治米中学校同窓会に参加

↑6.29岡山空襲の日、記念行事がおこなわれました。犠牲者の数1400以上のキャンドルに明かりがともされました。

↑岡山市出身の女性活動家福田英子の顕彰碑を生誕地に！が実現しました。笠井山から野田原町公園に移設されました。

↑今年度は戦後60年、竹永議員は近隣の平和資料館を視察に行っています。7月は福山市と高松市に行きました、高松平和記念室の前で。

↑岡山空襲資料館も出石小学校から勤労者福祉会館に移転オープンしました。立命館ミュージアムの安斎都郎先生も来館。

地域のカタチ
*医療生協「ワオキッチン」
山南支部の皆さんと要望してありま
した。西大寺浜橋など

*西大寺永楽橋周辺の住民たち...
大きなトラックの振動がなんとかなり
ませんか？との声に、道路の改善を行
いました。

*西大寺中学校区後援会で開催
された「地域おこし会議」
で、地域の課題や取り組みについて
話し合いました。

*中央福祉会の会のみならず、勤
労者の手取りを上げるべく、
労働組合の手取り増進の
会を立ち上げました。

生活相談毎週行っています！

- 第1・第2月曜日、西大寺事務所（西大寺中野137-12）(086) 942-1780
- 第3月曜日は法律相談 弁護士さんが対応します。午後6時半～西大寺事務所（西大寺中野137-12）(086) 942-1780
- 第4月曜日 コープ西大寺診療所（西大寺中2丁目20-33）(086) 944-0088
- 毎週木曜日 上道事務所（東平島440-6）(086) 297-9515

竹永議員6月議会個人質問より

- 1. 山南学区プールの拠点化について**
今年度予算で山南学区の4つの小学校（太伯・幸島・朝日・大宮）のプールを拠点化し、山南公民館の横に温水プールを建てるための設計測量費があげられています。竹永議員は教育委員会が一校一プール制を今まで維持していたのは、教育としての位置づけがあったからではないか？また先日加茂小学校ではりっぱなプールが新築されたばかりです、教育の平等性に反すると厳しく指摘しました。教育委員会がかける理由としては財政難が主な理由です。このプールの総事業費は3億3300万円です。温水だから全天候に対応でき、インストラクターが指導してくれるので技術が上達するのと考えます。いくら全天候型と言っても学校から離れていたら利用したときにすぐ利用できにくくなるのではないのでしょうか？教師の多忙と心労、最近のこともとりまく事件などをみると学校外施設は本当に心配です。保護者は「新聞報道で始めて知った」といわれている方がほとんどです、教育委員会はきちんと説明責任をはたすべきです。結局市の税金で建設し、指定管理者制度で民間に委託をされ、教育のためでなく民間優遇の内容に使われる危険もあり問題の多い中身です。
- 2. 小島ヶ丘団地土壌汚染問題で市は両備と住民の三者懇談を約束。**
水道工事のため敷地を試掘したところ岡山市南古郡地内の小島ヶ丘団地内から油のおおがする地下水がでてきたことからこの地域の土壌汚染が発覚しました。地下水からはベンゼン及び砒素が環境基準値を超えて検出されました。その後岡山市や、この団地の開発業者である両備バス会社も土壌調査をおこないましたが、基準値内という結果でした。両備側は住民に対し土壌ガス吸引の方法などの方法をしました。しかし納得いかない住民は、自分たちでお金を出し合って大阪市にある環境監視研究所に土壌調査を依頼しました、その結果いずれも基準値より低く濃度は薄いけどコブラナーPCBなど自立神経失調症などの健康被害につながる物質が検出されています。竹永議員はこのことを個人質問で取り上げ1990年団地造成時に旭油化の工場があったことが住民に告知されていなかったことを指摘し説明責任はなかったのかとせまりました。また両備と住民と話し合いがもてないまま住民は不安な毎日を送っている状況です。一刻も早く、解決できるようにとの竹永議員の要望に対し、市は、市と住民と両備との三者懇談を設けると約束し、早速調整にはいっています。
- 3. 台風シーズンを前に予防対策を**
昨年の台風の被害を教訓に、県のハザードマップを受け市としても防災マップの作成の具体化がもたれています。竹永議員は1、避難活用型（住民が洪水時に安全に避難できることを目的としたもの）2、防災情報型（地域の防災担当者を利用することを目的としたもの）3、目的と用途に合わせて細かくつくる必要があると提案。市はまず、地域から被害を教訓に聞き取りを行い各地域のニーズに合ったものを市民協働で作ろうと考えていると答弁。台風シーズンをまに一刻も早い具体化をもとめました。
- 4. 障害者にとってくらしやすい岡山市にするために。自立支援法案には反対です**
認知症（痴呆）の独居老人をめぐりリフォーム詐欺など各地であいつき問題がおきています。竹永議員は判断能力が不十分な方などの財産管理のための成年後見人制度が岡山市はきちんと利用されているのか？個人質問でとりあげました。申し立てから審判まで3、4ヶ月かかることや費用が高いことで利用が促進されていないのが実態です。竹永議員は具体的なケースをあげて特別な理由があるケースには市長が申立て人になることもふくめて利用しやすい制度にするをもとめました。その後、国では後見人の申立人が4等身以内の親族という条件を2等身以内と緩和する方向で議論がはじまっています。また今議会個人質問では、障害者の女性のケースを例に具体的に今でもサポートがないと自立が出来ないことを示し、これで障害者自立支援法が可決されるとホームヘルプサービスも経済面を考えると減らさなくてはならなくなる。やっと自立できたのにまた親元に帰って暮らさなければならぬのか？障害者は大人になっても一人で暮らすことも夢を持つことも許されないのか？と迫りました。「市として全国課長会をおして迅速な可決はしないように要望しているところで」との答弁がありましたが、国では郵政官営化の影に隠れてじゅうぶんな審議が出来ていない様子です。

こんにちは 日本共産党の竹永みつえ 1. どうなる？ 介護保険

国会では賛成多数でついに、介護保険改悪法案が可決されました。利用料を大幅に引き上げる問題だらけの中身です。さて今度の国の改悪で実際はどうなるのでしょうか？

施設利用料(食料費・居住費・自己負担)が約月3万円の負担増!?
施設入居者には新たに食費と居住費が全額自己負担になり、介護度5の標準的な4部屋のケースの人で月3万円の負担増となります。またデイサービスなどの通所の方も食費が自己負担になります。10月からの前倒しで実施されるという高齢者にとってはほとんどない内容です。

要支援・介護度1など軽度の方がサービスからはずされる?!
今度の改悪では予防給付の名のもとに要支援・介護度1の人の多くが今まで受けていたヘルパーサービスやデイサービスが受けられなくなります。少しの手助けがあればなんとか在宅生活を続けられる方からホームヘルプサービスを奪う結果となるかもしれません。必要な人からサービスを奪うのは許せません。

今年度は岡山市介護保険事業計画のみなおしの年。皆さんの声を計画に反映するためにがんばります。

~中央福祉会と市議団と担当課の懇談より~

7月11日に中央福祉会の代表者を集まっていたとき、具体的なケースを紹介していただきながら今後の介護保険事業計画に反映させてほしいと市介護保険課、高齢者福祉課の代表者と懇談しました。中央福祉会からは、今の施設利用者のほとんどは国民年金の女性の高齢者が多く改正後居住費や食事代の自己負担で平均3万円負担が増える見込み、これでは生活できないなどの具体的な声がありました。また在宅介護支援センターからは利用抑制が高齢者虐待につながるのと声やサテライト相談会など加算のない部分でもがんばってきた実績を加味し、一般施策で在宅介護支援センターを残してほしいとの要望も出されました。市としてもその必要性は承知しているが財源の問題などまだまだ研究しなければならないが岡山バージョンとして考えたいとの答弁でした。この懇談会では少しいの支えがあるからこそ在宅生活を維持できている高齢者などが今度の改正で困難になるなど具体的に利用者のさまざまな実態が語られました。市議団としても今回の具体的な実態をつかむ懇談会で課題がはっきりしました。すでに市民から公募した委員を含む事業計画策定専門委員会がたちあがっています。傍聴をしたり、率直な意見を届けていきたいと思います。委員会の日時や介護保険に対する問い合わせは「介護保険課803-1240」まで

2. 保育園いきなり4園の民営委託!?

6月定例会議会の市長所信表明で「公立保育園4園の民間委託」を表明。保護者や地域に説明し納得できたらとのことで、園名はまだ公表されていません。児童虐待や子どもの安全などこどもを取り巻く状況が大変なときだからこそ地域に根ざした公立保育園の存在は重要です。サービスの充実などまだまだ立派であることがあはれずです。西大寺ブロックから2つの園が民間委託になるとの動きで地元調整に入っています。保護者にとっては寝耳に水の話です。しっかりと保護者と地域と連携して迅速な民間委託にストップをかけましょう。

岡山市政トピックス

① 第二工区ビルオープン

NHK・全日空ホテル、岡山市デジタルミュージアムなどが入る岡山駅西再開発ビルリットビルが7月末にオープンします。市がNHK跡地を購入するという約束でこのビルにNHKを誘致したり、総事業費60億円のデジタルミュージアム、また特定建築者制度で大成建設あきりの事業手法、しかし特定事業者が責任持たなければならぬ保留床を市が24億円も出して買うなど、企業優遇の前身、また財政難の今必要な事業なのか？駅西再開発は第一工区ビル第二工区ビルあわせて60億円もの公共事業です。という観点で我が党市議団は反対をしてきました。

② 総合施設って??

国は、保育園でも、幼稚園でもない第三の就学前の乳幼児を対象にした施設「総合施設」を来年度から本格実施をする計画です。いままでの施設設置基準（園児一人当たりの施設や園庭のひろさや職員数など）がなくなり、保育園に義務付けられていた乳児室や給食室なども必要がなくなります。経営母体も社会福祉法人でなくても株式会社でもなんでもよくなる内容です、我が党市議団はこの「総合施設」自体が保育の質の低下につながるの危険をもっています。今年度国は、全国36箇所でのモデル指定をおこなうこととし、岡山にも1300万円の予算をつけました。社会福祉法人でも学校法人でもない無認可に予算がついたのは岡山市だけです。この対象施設は岡山市高島にある「だいちこどもの国」です。6月議会ではなぜこの事業所が選ばれたのか？市としてどういう審査をしたのか？経営状況の把握は？など大議論になりました。しかし岡山市教育委員会はじゅうぶんな答弁も資料も提示することができませんでした。また議論の経過で以前この事業所が県の補助金を受けて問題をおこして事業を中止した経歴をもつ事業所だということもあきらかになりました。我が党市議団は反対をしましたが、他の会派もこんなずさんな決め方には納得できないと、資料が整うまで予算の執行を保留すること一致しました。5月議会で築き上げた議会内の「チェック機能の効く議会を！」という連携の結果ができた議会でした。

③ 竹永議員は建設委員会でがんばっています。

合併のつけ？ 高い買い物 灘崎町の土地3倍の価格で購入
竹永議員は今期後半から建設委員としてがんばることになりました。初めての委員会、共産党としても6年ぶりの参加ということで責任重大なプレッシャーの中、がんばっています。さて今回は、灘崎町の総合公園の土地購入が大問題に

りました。なんと岡山市では考えられないのですが、鑑定評価もとらず、近隣の県で購入したファーマーズマーケットの価格を基準に通常の三倍以上の価格で購入することがわかりました。「拙速な合併のついで、岡山市民にどう説明するのか？」と厳しく指摘しました。

④ なのにまだまだ合併?今度は建部町と研究会

しかし、政令市にこだわる市長は、まだまだ人口あわせのための合併を続ける構えです、今年度から建部町との研究会が立ち上がりました。手法はまったく御津町のときと同じです、このままの勢いで今年中に協議会へ進む可能性もあります。要チェックしていきましょう。

⑤ 岡山市に2つのポートピアの動き

岡山駅前の国際貿易センター進出予定のビルの中に「場外券売場」誘致という陳情が2月議会、6月議会と出され、世論の声におされ取り下げられています、まだ9月議会にも出される予定で動いています、党市議団としては、地域住民と反対の声を結集しているところ。また御津町では虎倉地区に合併の直前に倉敷市と「場外券売場」に関する協定を結んだことが判明し、不信の声が広がっています。岡山市議会としてはこの問題をまだ議論していません、市議会としてどうするか？岡山市をキャンブル場と化すこの案件に超党派でストップをかけていきたいと考えます。

御津町虎倉地区ポートピア予定地